

株式会社SHOEI 2025年9月期第2四半期決算説明資料



I	2025年9月期第2四半期決算実績	P. 2
----------	--------------------------	-------------

II	2025年9月期業績予想（現時点で変更せず）	P. 8
-----------	-------------------------------	-------------

I . 2025年9月期第2四半期決算実績

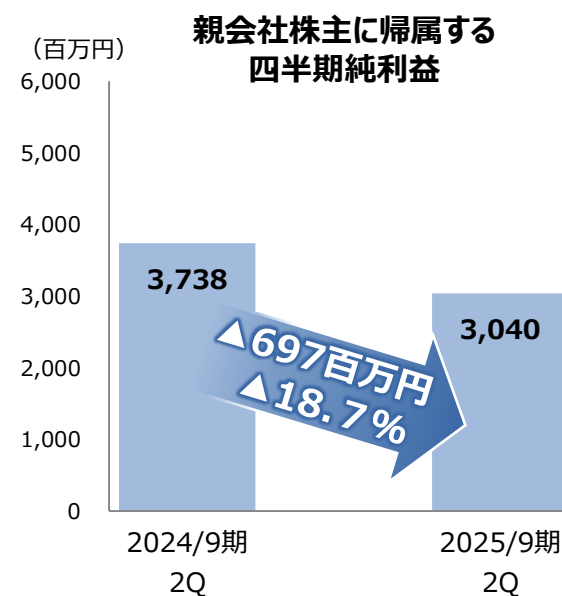
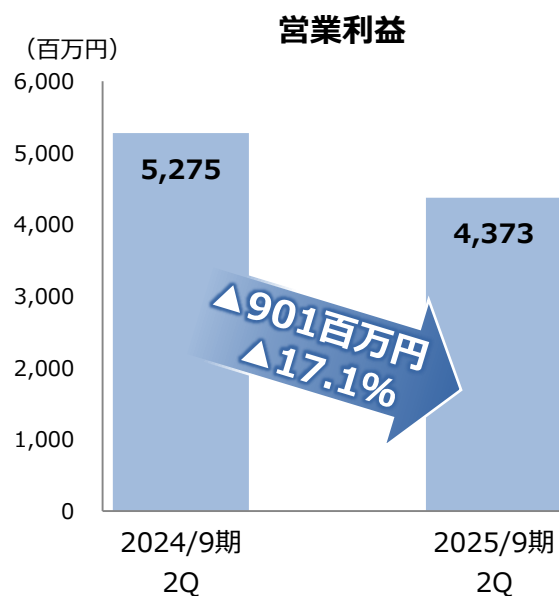
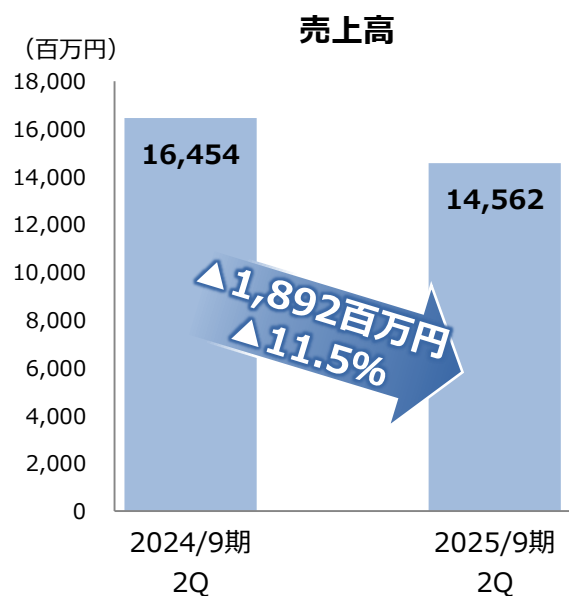


① 連結決算実績概要



2025年9月期第2四半期連結決算のポイント

- ① 連結販売数量は、欧州における前期の新モデル効果の反動減、日本の流通在庫調整等を主因に前年比18.2%減
- ② 売上高は、円安効果や前期下期からの値上げ等による単価上昇がけん引し、前年比11.5%増にとどまる
- ③ 営業利益は、生産数量減に比べ製造原価が増加、広告宣伝費など販売管理費も増加し、前年比17.1%増



期中平均為替レート
(2025年9月期2Q)

US \$ = 152.95円
(前年比+3.89円)

EUR = 161.54円
(前年比+1.99円)

海外子会社換算レート
(2024/12末)

EUR = ¥164.92
(前年比+7.80円)

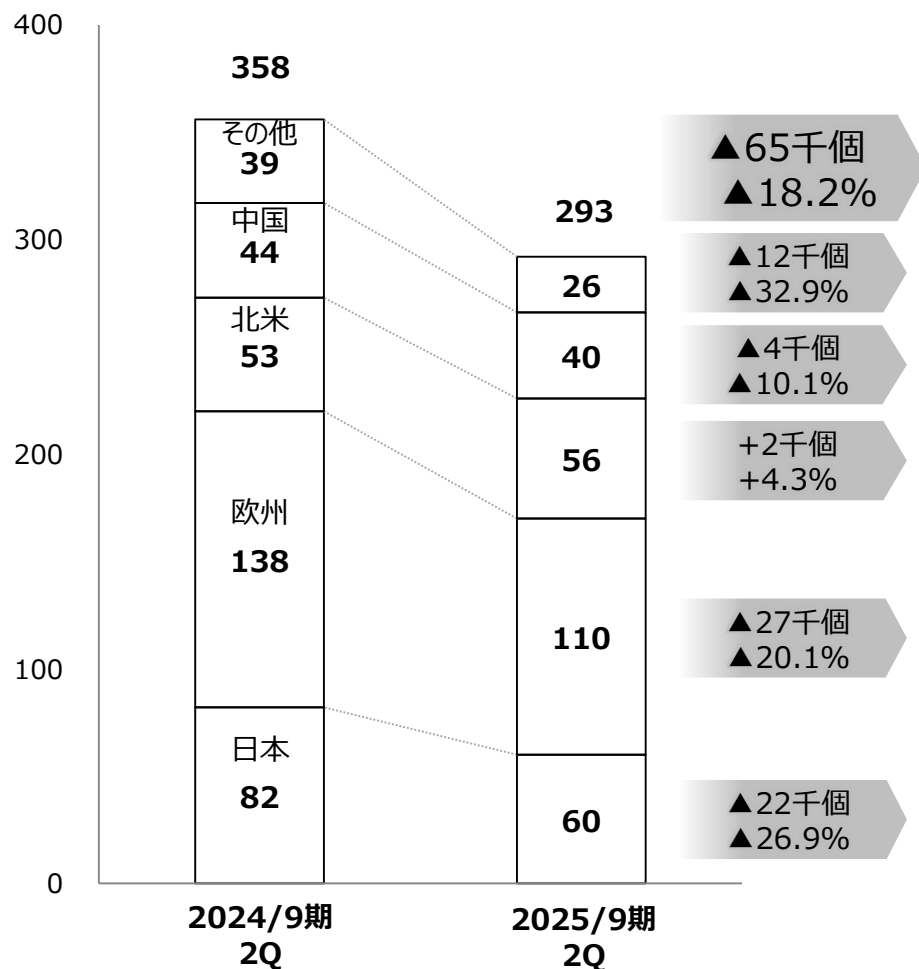
②地域別販売個数・売上高（連結）



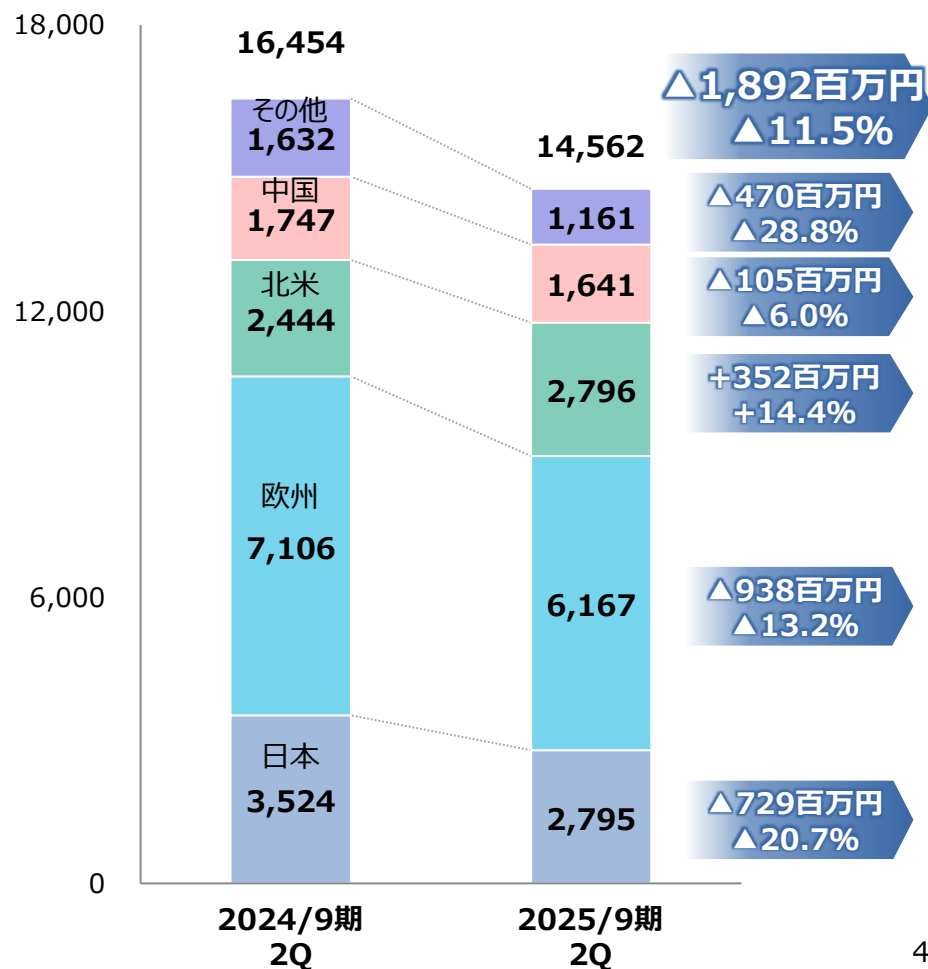
欧州の前年比減少は、前期の主力モデルチェンジ効果の反動減、フランスにおける天候不順等による。日本では過剰な流通在庫の調整が本格化しており、その他地域は受注の端境期により前年比減少。一方で、北米向けは円安効果により廉価版製品の受注が好調となり前年比増加。

地域別販売個数・売上高（連結）

販売個数（千個）



売上高（百万円）

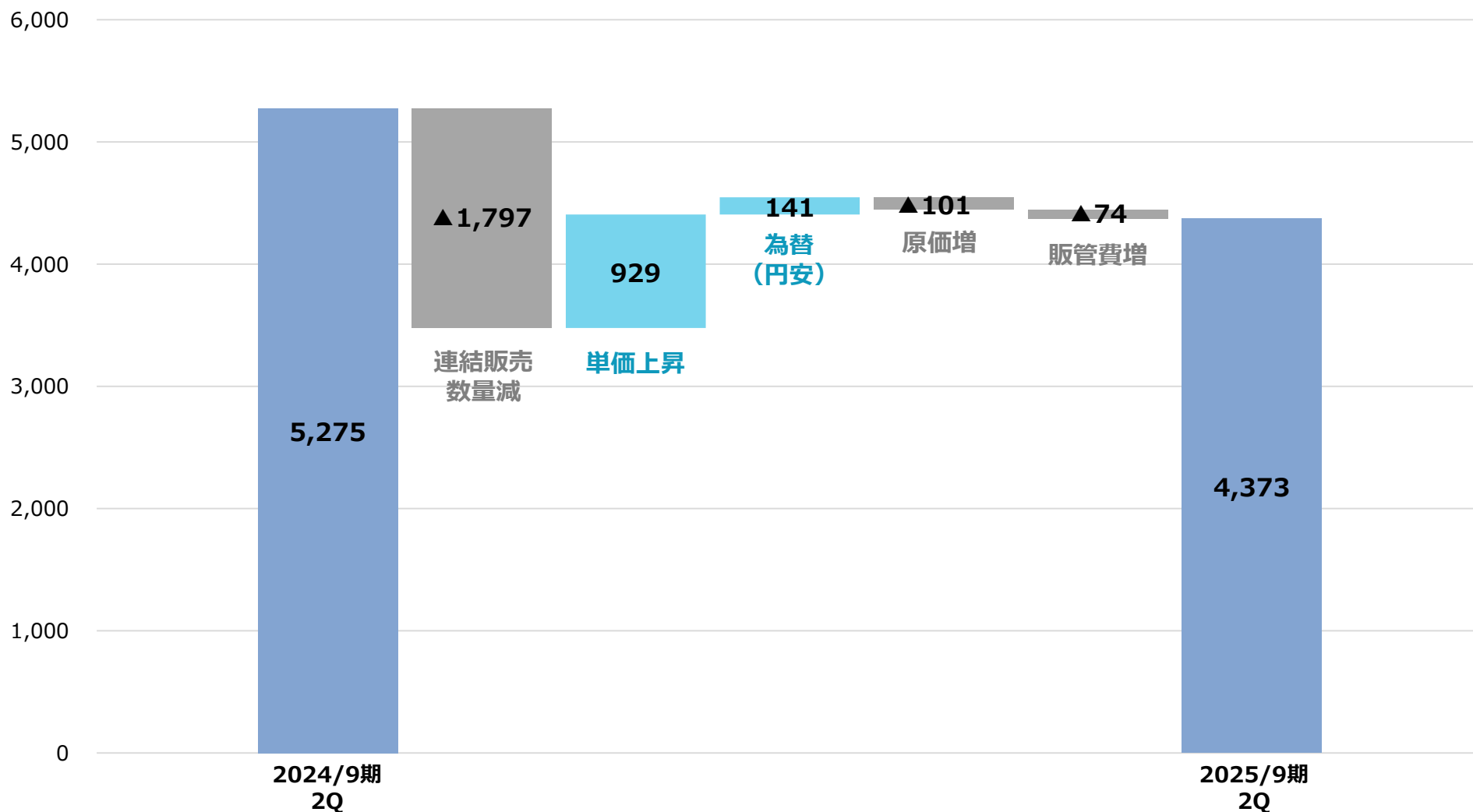


③連結営業利益増減要因（実績）



連結販売数量の減少が大きな減益要因となり、それを前期からの値上げ等による単価上昇や円安効果が打ち返したものの、営業利益は前年比9億円減少となった。

（単位：百万円）



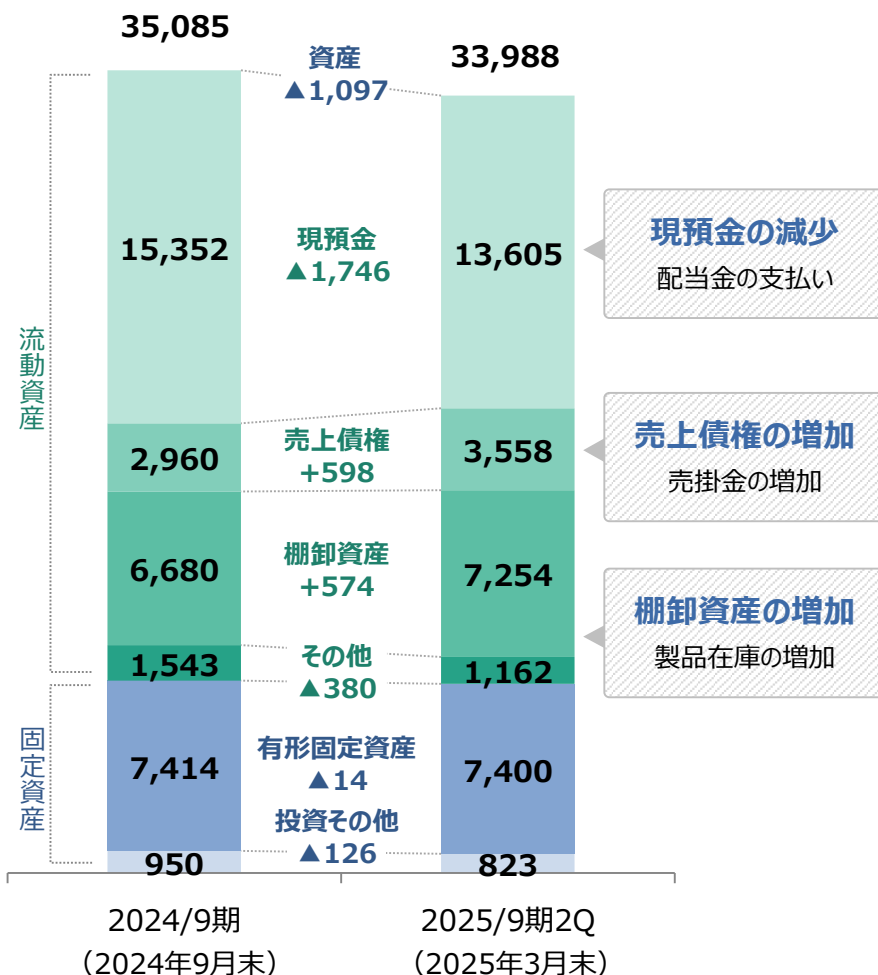
1. 2025年9月期第2四半期決算実績

④貸借対照表（B/S）（連結）



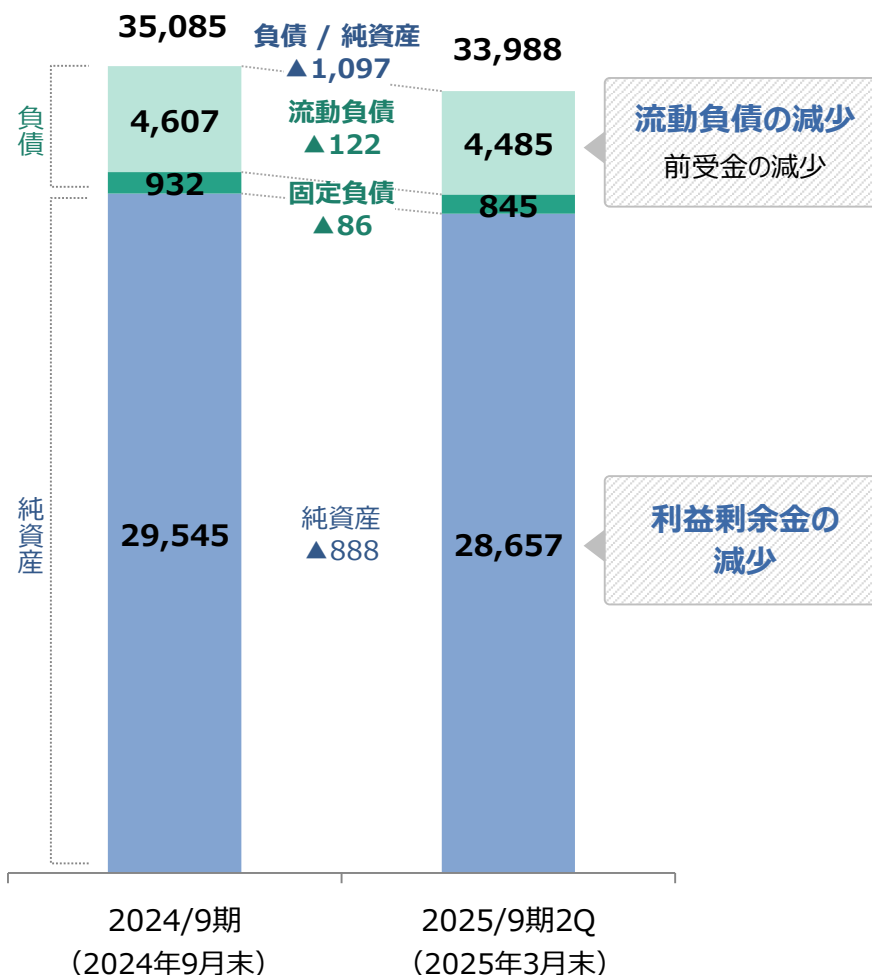
資産

(単位：百万円)



負債/純資産

(単位：百万円)



自己資本
比率

84.2%



84.3%

⑤ 2025年9月期第2四半期トピックス



- 新モデル J-Cruise 3（モデルチェンジ）を世界展開し、好評を得る。
- NEOTEC 3（システムヘルメット）については、主力の欧州市場で絶賛を受けて好調を維持。
- 昨年に続き、東京と大阪のモーターサイクルショーに出展、活況を呈した昨年を上回る賑わいを見せた。

新モデル J-Cruise 3（モデルチェンジ）を世界展開

2024年9月欧州販売を皮切りに、世界展開を開始

欧州：2024年9月出荷開始

希望小売価格：€ 549.00～

日本：2024年11月出荷開始

希望小売価格：¥ 63,800～

中国：2025年3月出荷開始

希望小売価格：CNY 3,780～

北米：2025年3月出荷開始

希望小売価格：\$599.99～



J-Cruise 3
チョコクグレー



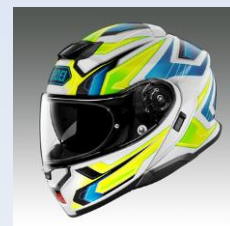
J-Cruise 3
INSPIRED

NEOTEC 3が主力の欧州で高評価

2023年9月に欧州にて販売開始し、
欧州市場で引き続き高い人気を得る



NEOTEC 3
ガーネットメタリック



NEOTEC 3
ANTHEM

東京と大阪の『モーターサイクルショー』出展（2025年3月）

- ・ 毎年春の3日間に渡って東京及び大阪にて夫々催されている、日本国内で最大規模のオートバイ、部品、用品の見本市『モーターサイクルショー』に出展。
- ・ 新モデルJ-Cruise 3（モデルチェンジ）を展示するとともに、昨年に続いてガンダム、初音ミクといった日本が誇る文化とコラボレーションしたヘルメットを発表。
- ・ 電子調光シールド、カーボン素材ヘルメット（参考品）といった新技術を活用した製品を披露。



Ⅱ．2025年9月期業績予想



① 連結売上・利益予想（現時点で変更せず）

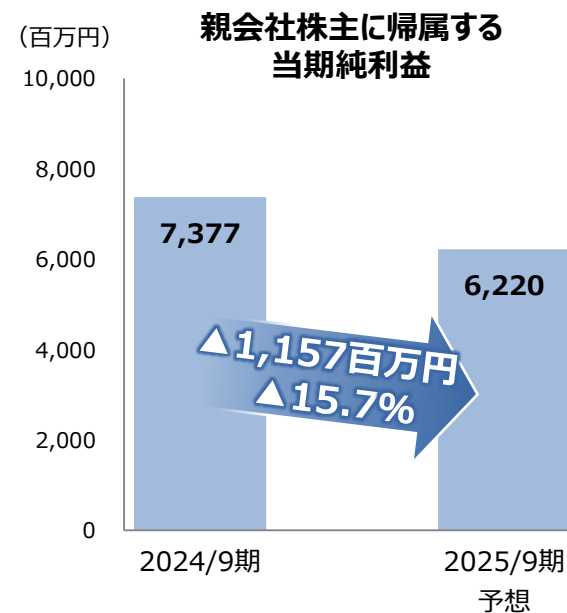
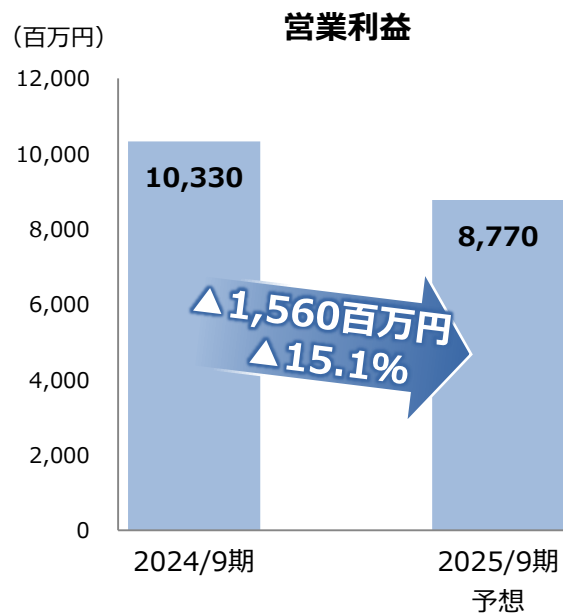
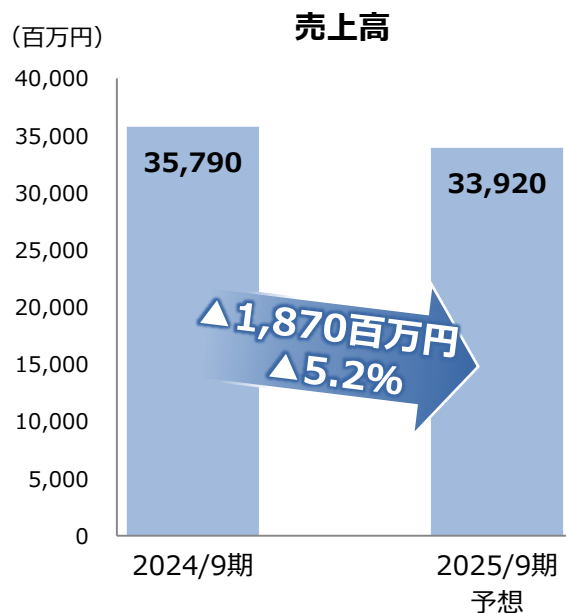
連結売上・利益予想に関するポイント

第2四半期累計の連結業績については、中国向け輸出が予算を下回った等の理由により連結販売数量が計画比で下振れた一方、上期を通じて円安となった効果を含めて単価が上昇したため、売上高、各利益は計画比微減で着地。

下期は様々なプラス・マイナス要因があり、先行き不透明な要因も多く認められるため、現時点において通期の連結業績予想は変更せず。

- ① 下期から既存製品の値上げ実施、中国市場と欧州市場における若干の持ち直し期待
- ② 米国の関税措置発動による景気下振れリスク
- ③ 為替変動リスク

【通期の連結業績予想（期初から変更せず）】



② 予想される機会とリスク（期初からアップデート）



「一定の前提のもと業績見通しを策定しましたが、多様なリスクに備えつつ、様々な機会を捉えて利益を増大させるため、最大限の自助努力を行います。」と期初に発表。主な進捗を以下に追記

➤ プラス要因

➤ マイナス要因

機会（オポチュニティ）	リスク
✓ 想定為替レートより円安 ➤ ドル・ユーロともに累計では想定為替レートより円安 ✓ 需要回復による生産数量増 ✓ 付加価値向上や市場動向を踏まえた単価上昇 ➤ 下期出荷分より既存製品の値上げにより単価上昇 ➤ グラフィックの種類増加及び前倒し投入、またコラボグラフィック投入により需要喚起及び単価引上げ ➤ 米国の新関税政策如何では、日本製品の競争力が他のアジア諸国に比べ相対的に強まる可能性あり ✓ 工場を中心とする生産性向上 ➤ 日々のカイゼン活動を継続 ✓ 様々な工夫による費用縮減 ➤ 予算内でも費用対効果を勘案して費消	✓ 想定為替レートより円高 ➤ トラUMP大統領による関税措置発動から、ドルが想定為替レートより円高方向となる頻度が増加 ✓ 地政学リスクの高まり等による景気後退 ➤ 現在、昨年度比販売数量の減少が大きい中国、フランス市場が引き続き低迷もしくは更に悪化するリスク ➤ 日本の流通在庫調整が長引く ✓ 新モデル・新グラフィックの販売低調 ✓ 自然災害リスクの高まり ✓ 関税引き上げによる需要減退 ➤ 4月5日の米国向け出荷分より10%の関税が現地でかかる。24%の相互関税は90日間の停止期間が設けられ、日米交渉中であり、不透明要因となっている ➤ 米国内でプレミアムヘルメットは製造されていないため競争環境は悪化しないが、消費者に転嫁すれば消費が抑えられるリスクあり

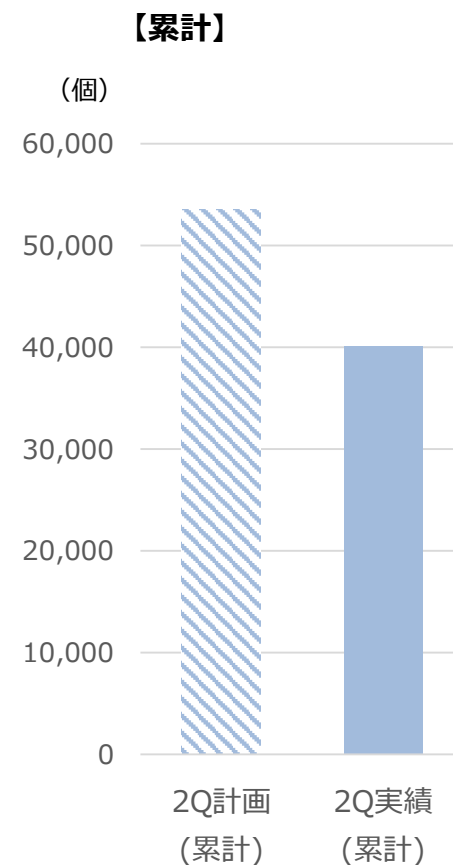
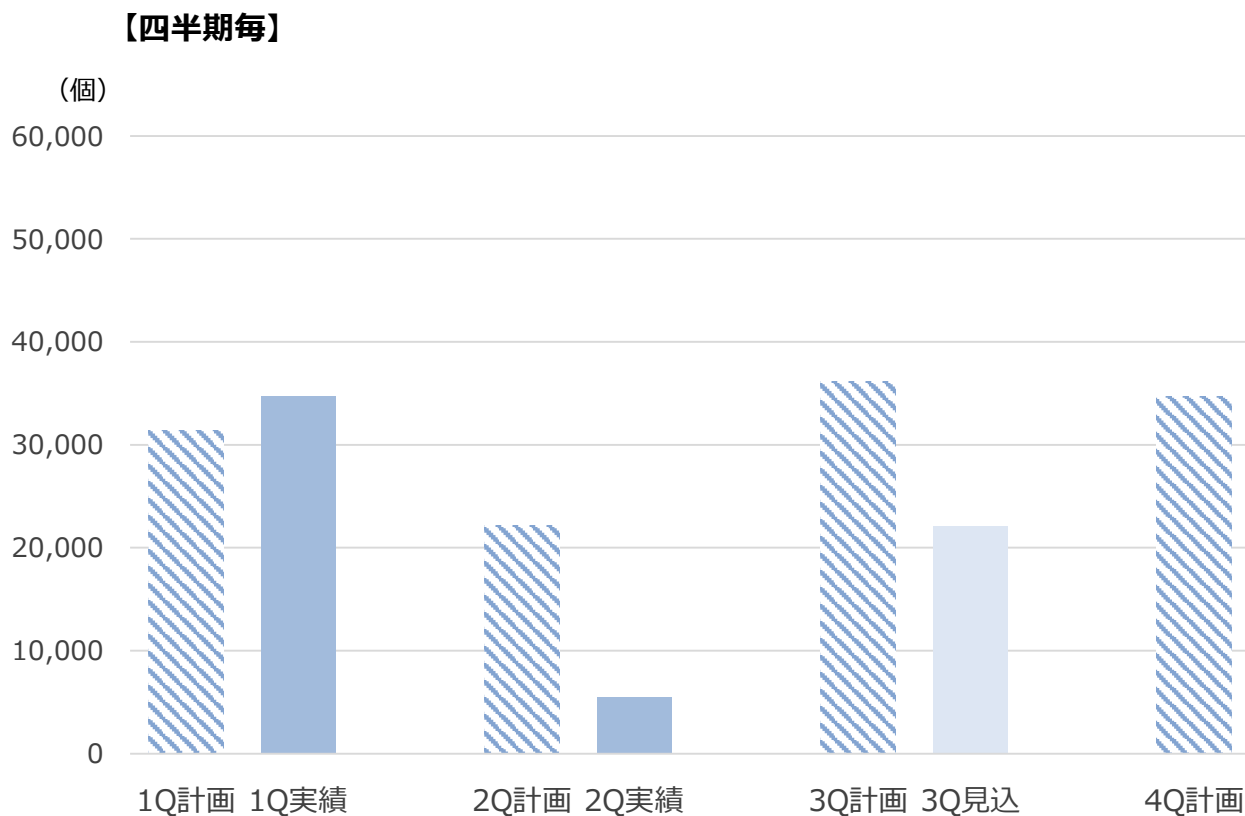
③中国向け輸出について



中国向け輸出と受注状況

- 中国向け輸出は第1四半期こそ計画を若干上回ったが、第2四半期は大きく落ち込んだ。これは、もともと冬場と旧正月が重なる不需求期、且つ、市場が低迷していたこともあり、小売店が休みを増やすなど営業日を減らして代理店への発注を大きく絞った結果、代理店から当社への発注も大きく落ち込んだため。
- しかし、第3四半期の販売に向けた受注は、予算比減少幅が改善しており、直近の受注月では単月ながら予算通りの受注まで回復。第4四半期での販売回復を期待。

【中国の販売個数（25/9期、実績、見込及び期初計画）】



2. 2025年9月期業績予想

⑤ 2025年9月期マーケット環境とトピックス（販売・商品・生産）

販売戦略

欧州	市場全体としては弱い状況が続いており、フランスを中心に販売が予想を下回っているが、流通在庫は適正な水準を維持。グラフィック投入増による需要喚起に加え、欧州でのPFS（パーソナル・フィッティング・サービス）普及のため、本社よりドイツ子会社に人員を1名派遣。
北米	上期を通じて当社ヘルメットの販売は順調に推移。ただし、トランプ大統領による関税措置の発表後、不透明な状況となっておりつつある。日米交渉の進捗を注視しつつ、必要となれば関税対応について代理店との協議を深める。
アジア	中国市場が弱い状況が続いている。ただし、下期の春から夏にかけての需要期に合わせ、新モデル J-Cruise 3（モデルチェンジ）や新グラフィック投入による需要喚起を実施。また、現地の販売店を集め、「実店舗による丁寧な販売方針」を改めて申し合わせるとともに、PFSを含めたサービスの質向上に向けた活動を展開。
日本	第4四半期にかけてコラボグラフィックを打ち出し需要を喚起、長引いている国内流通在庫の調整を進めていく。また、PFSの更なる拡充に伴い、インナーパッドをはじめとしたヘルメット内装品の店頭在庫を充実させる。

商品戦略

- レプリカヘルメットやグラフィックのラインナップ、カラーバリエーションを拡充



X-Fifteen
GARDNER



NEOTEC 3
FRAGMENTS



VFX-WR
イグニッションレッド



J-O +
マットラグナブルー



EX-ZERO/
J-O +
モスグリーン
（限定品）

- 前期のバリバリ伝説とのコラボに引き続き、ガンダムおよび初音ミクとのコラボ製品を発表



Z-8 MS-06S
シャア専用ザクII



Z-8 RX-78-02
ガンダム



Z-8 初音ミク

生産戦略

- 生産数量の減少を踏まえ、休日出勤ゼロ、外注作業の一部取り込み、日当たり生産数量の調整など引き続き臨機応変に生産体制を変更。同時に、空いた時間で生産性向上や各人のスキル向上に向けた活動を一層推進。
- 茨城の新敷地に新倉庫建設（2025年1月稼働済）、さらに SHOEI HELMET PARK を建設中（2026年春完成予定）。



IRに関する
お問い合わせ先

株式会社SHOEI

電話

03-5688-5160

e-mail

ir@shoeihelmet.co.jp

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。